

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

### 事業名 災害時歯科医療救護チーム養成支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2535)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 300千円 (前年度予算額：300千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	300	0	0	0	0	0	0	0	300
要求額	300	0	0	0	0	0	0	0	300
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県は災害時の歯科医療救護の万全を期するため、県歯科医師会と「災害時の歯科医療救護に関する協定」を締結している。
- ・また県歯科医師会においては、平成30年5月に岐阜県災害歯科保健医療連絡協議会を立ち上げるなど、災害時における歯科医療救護体制の充実強化を積極的に進めている。
- ・県内の災害歯科医療コーディネーターの育成や、歯科医療救護チームの人材育成のため、県歯科医師会が実施する災害医療研修に対して補助を行う。

### (2) 事業内容

#### 【補助対象機関】

県歯科医師会

#### 【補助対象及び補助率並びに補助限度額】

県歯科医師会が実施する災害医療研修に要する経費の10/10

### (3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の災害医療体制を強化するため、岐阜県歯科医師会が行う災害医療研修等へ補助を行うものであり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

- ・ 災害医療関係機関体制整備事業費補助金  
(補助対象機関：県医師会 補助率：10/10)

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	300	災害医療研修の実施に必要な経費に対する助成。
合計	300	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県地域防災計画【一般対策計画】

#### 第2章 - 第20節 - 3 (7) 効率的な医療を確保するための研修

県及び医療機関は、効率的な医療を確保するため、トリアージ技術、災害時に多発する傷病の治療技術等に関する研修を実施するものとする。

#### 第3章 - 第25節 - 3 (1) 医療救護活動 - ウ医療等関係機関

d 岐阜県歯科医師会・・・医療救護班の派遣に協力する

- ・ 第7期岐阜県保健医療計画 第7節 災害医療対策

岐阜県歯科医師会が行政や医療関係機関との連携や認識の共有化を図るため準備を進めている災害歯科保健医療連絡協議会の設置について、連携・情報共有を図っていく。

### (2) 国・他県の状況

厚生労働省は、災害歯科保健医療チーム養成支援事業（日本歯科医師会への補助）により、災害歯科保健医療チームに属する医療従事者の養成を進めている。

### (3) 後年度の財政負担

災害時の医療救護活動において、遺体の検案や避難者の口腔ケア等、歯科医療救護チームは重要な役割を担っており、今後も当該補助金を継続する。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	災害時歯科医療救護チーム養成支援事業費補助金
補助事業者（団体）	公益社団法人岐阜県歯科医師会 （理由）医療救護計画において、県は歯科医師会と協力し、災害時の歯科保健医療活動を実施することとしているため。
補助事業の概要	（目的）災害歯科コーディネーターの育成 （内容）県歯科医師会が行う研修に対する補助
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率 10 / 10 （理由）事業の公益性に鑑み、県の積極的支援が必要。
補助効果	県内の災害歯科コーディネーターを育成し、災害時の歯科保健医療救護体制の充実強化を図る。
終期の設定	終期 令和3年度 （理由）3年毎に事業の見直しを行う。

### （事業目標）

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

県歯科医師会において、大規模災害時に県の要請に基づき歯科医療救護チームを編成、派遣できる体制を構築する。そのために必要となる研修会や訓練等を県内の歯科医師等を対象に実施する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R2年度末)	目標 (終期)
① 研修受講者数	0	60人	90人
②			

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	300千円	(予算額) 300千円	(要求額) 300千円
指標①目標			30人	60人	90人
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

令和2年度事業は、10月現在で未実施、今後実施予定。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県内DMATの他、医師会JMATや日赤救護班、災害支援ナース等、様々な医療チームとの連携を図る必要がある。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い      △：必要性が低い

(評価)      岐阜県の災害医療体制を強化するために災害医療関係機関として、ネットワークが大きく、果たす役割も大きい県歯科医師会が行う災害医療研修への補助事業であり、必要性は高い。  
○

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている  
△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)      計画的に研修会を実施しており、各地域医師会の連携機能の強化や体制整備が図られている。  
○

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

○：効率化は図られている      △：向上の余地がある

(評価)      各地域医師会にとって有効な内容となるよう、県歯科医師会が企画しており効果的な研修となっている。  
○

(事業の見直し検討)

大規模災害時に、県の要請に基づき歯科医療救護チームが迅速・的確に活動するためには、継続した訓練や研修が必要であるため、当事業を今後も継続していく。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止  
(理由)